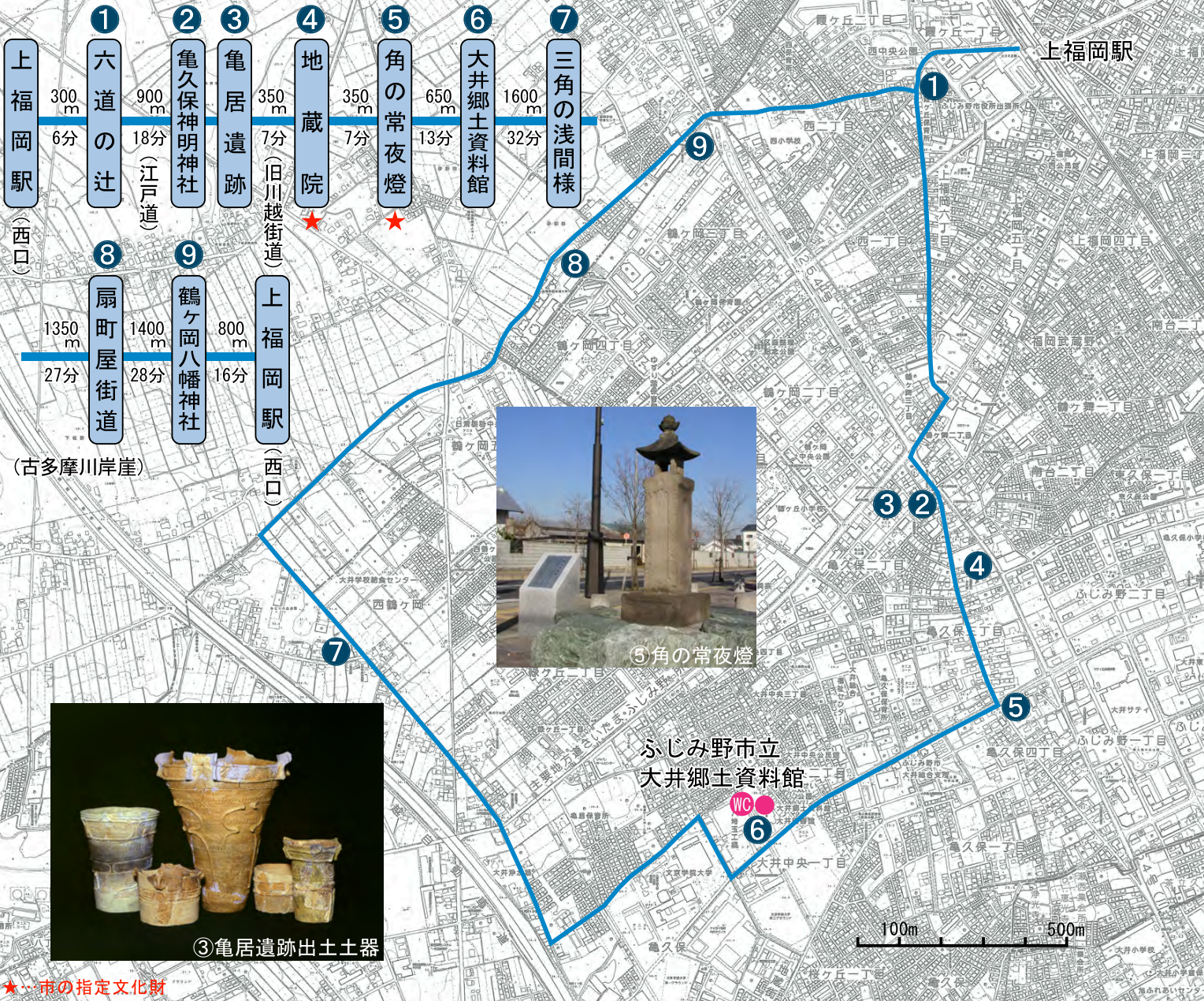


A. 六道の辻から古道をたどる

■道程／7700m ■所要時間／約2時間34分（見学時間を除く）



①六道の辻 ろくどう つじ 新河岸川の河岸場などに通じる6本の道が交差していたためこの名がある。道標を台石とする地藏ほか3体が祀られている。

②亀久保神明神社 けいちょう 慶長3年(1598)、亀久保村の村社として創建されたという。社の西側には、縄文時代中期前半の亀居遺跡がある。

④地藏院 しんごんしゅうちざんは 真言宗智山派。創建は鎌倉時代末期と伝えられるが、昭和27年の火災で本堂や寺宝を焼失した。境内のしだれ桜は、樹齢300年以上の古木だが、今も満開の花をつける。

⑤角の常夜燈 かど じょうやとう 川越街道旧道から木ノ宮地藏堂に通じる地藏街道は、神奈川の大山阿夫利神社参詣の道でもあった。角の常夜燈は大山阿夫利神社常夜燈で、その名はこれが建つ「角」に由来する。交通事情の変化により現在地に移されている。

⑥ふじみ野市立大井郷土資料館

⑦三角の浅間様 さんかく せんげんさま 富士山を信仰する富士講の信者であった有山伊左衛門が、幕末に富士山を模して築いたいわゆる富士塚である。

★…市の指定文化財